

特集

新生児の疾患とその徴候

見逃してはいけない異常徴候

出生直後の入院中に助産師が新生児に感じた
「なんとなく具合が悪そう。でも、こんなものかな？」
という印象をそのままにしないことが、新生児を疾患から救う
第一歩になります。助産師が何らかの兆しに気づくことで、
高次施設へつなぐ時期が早まるかもしれません。
本特集では、疾患の徴候を見逃さないための観察のポイントを
解説し、少しでもよりよいケアを受けられる新生児を
増やすことができればと考えています。
「正常新生児は存在しない」——つまり、すべての新生児は
疾患を発症する可能性をもっていると考え、
ケアすることが大切です。

